

## 日野市史編さんの事業

日野市史編さん事業は、日野史談会をはじめとする多くの市民の要望によって、昭和47年(1972)6月に発足しました。日野市史編さん委員会が構成されると、それまで行われてきた市内外の史料調査を引き継ぎ、地方史研究の第一人者であった児玉幸多氏の監修のもとに、編集委員(執筆者)や史料調査員によって、史料集や通史編の刊行を目指すことになりました。行政・市民・研究者が密接に連携しながら推進していくこととなったのです。

昭和50年からは、市の広報に市史編さんの状況が連載されるようになり、編集委員による歴史講座も行われることとなりました。こうして、翌51年には『日野市史史料集近代1』行財政編が、そして昭和61年からは『日野市史通史編三』近代1が、第一巻として刊行され、市史編さん事業は、いよいよ多くの方々の協力により、軌道に乗ることになったのです。

また、これと並行して、『五十子敬斎日記』や『河野清助日記』も刊行され、高幡不動尊文化財調査なども行われ、平成元年(1989)には、市民向けの日野市史別巻『市史余話』が刊行されました。

日野市史編さん事業は、こうして平成10年3月に、史料集13冊、通史編7冊の計20冊が刊行され、長い期間の調査や研究の積み重ねを経て、完了することとなりました。これらの市史の内容が、これからも市民の方々によって、広く活用されていくことを期待するものです。

(日野市古文書等歴史資料整理編集委員会委員 村上 直)

※この原稿は広報「ひの」平成25年12月15日号に掲載したものです。

\*詳細版を準備中です。後日、郷土資料館のホームページに、詳細版を掲載し印刷版も配します。

(問) 郷土資料館 (Tel 592-0981)